

新潟県スポーツ少年団創設 50 周年記念事業
第 3 4 回新潟県スポーツ少年団総合体育大会
第 3 6 回新潟県スポーツ少年団軟式野球交流大会開催要項

1 趣 旨

軟式野球を愛好するスポーツ少年団の各地区代表が集い、日ごろの活動成果を発揮し、一層の体力及び技能の向上を図るとともに、相互の交流を深めることを目的として開催する。

2 主 催 公益財団法人新潟県体育協会新潟県スポーツ少年団

3 主 管 新潟県野球連盟

4 後 援 新潟県教育委員会 新潟日報社

5 期 日

平成 2 6 年 6 月 2 1 日（土）～ 2 2 日（日）
< 予備日：6 月 2 8 日（土）、2 9 日（日） >

8 会 場

「みどりと森の運動公園野球場」

新潟市西区板井 1018-1 TEL 025-379-3766

※予備日の 6 月 2 8 日（土）、2 9 日（日）は会場が「新潟市小針野球場」となります。

「新潟市小針野球場」 新潟市西区小針 1-5-1 TEL 025-265-0513

9 参加資格

(1) 平成 2 6 年度スポーツ少年団登録団員及び指導者とする。

(地区予選会参加時まで市町村本部登録を完了しておくこと)

(2) スポーツ安全保険に加入している者であること。

(3) **高円宮賜杯全日本学童軟式野球新潟県大会に参加申込みをしている単位団の出場は認めない。**

10 チーム編成

(1) 代表指導者・引率指導者、各 1 名とし、2 名のうち少なくとも 1 名はスポーツ少年団認定育成員又は認定員の有資格者であること。

※指導者 2 名とも有資格者であることが望ましい。

(2) 団員は小学校 4 年生から 6 年生までの 2 0 名までをエントリーできる。

なお、「北信越ブロック大会・全国大会」のエントリー数については、各大会要項に従うこと。

(3) 指導者及び団員とも同一単位団の所属であること。

11 試合方法

(1) 下記地区割り表の参加団によるトーナメント戦とし、3位決定戦は行わない。

地域	該当市町村	参加団数
上越	上越市、柏崎市・糸魚川市、妙高市	1
中越A	燕市、加茂市、田上町、弥彦村	1
中越B	長岡市（川口町）、三条市、見附市、出雲崎町	2
中越C	小千谷市、十日町市、魚沼市、南魚沼市、津南町、湯沢町	1
下越	新発田市、五泉市、村上市、佐渡市、阿賀野市、胎内市、 聖籠町、阿賀町、粟島浦村、関川村	1
新潟	新潟市(中央・東・西・江南・北・秋葉・南・西蒲)	2

(2) 組み合わせ抽選に関しては、主催者の責任において行う。

12 競技規則

2014年度「公認野球規則」および2014年版全日本軟式野球連盟の競技者必携「学童野球に関する事項」を適用する。ただし、別に示す「第36回新潟県スポーツ少年団軟式野球交流大会規則及び方法」を適用する。

13 使用球

(公財) 全日本軟式野球連盟公認C号球を使用する。

14 参加申込

別紙参加申込書により、平成26年6月13日（金）までに下記へ申し込むこと。
その際、登録用紙の1号～3号用紙を必ず添付すること。

〒950-0933 新潟市中央区清五郎67番地12 デンカビッグスワンスタジアム内 公益財団法人新潟県体育協会新潟県スポーツ少年団 TEL(025)287-8600 FAX(025)287-8601
--

15 参加料

団員・指導者 一人1,000円（マネージャー・スコアラー含まない）

16 振込先

(1) 主催者が指定する下記の口座に6月17日（火）までに振り込むこと。

大光銀行 新潟駅南支店 普通口座 270835 名義：全日本軟式野球連盟 新潟県支部 支部長 山内春夫
--

(2) 振り込みと同時に別紙「納入書」を必ず郵送すること。

(3) 振込手数料は各団負担とする。

17 日 程

【 1 日 目 】

- 7:15～ 7:45 受付
- 8:00～ 8:20 代表指導者
代表団員会議
- 8:30～ 8:50 開会式
- 9:10～10:40 第 1 試合
- 11:00～12:30 第 2 試合
- 12:50～14:20 第 3 試合
- 14:40～16:10 第 4 試合

【 2 日 目 】

- 9:00～11:00 準決勝第 1 試合
- 11:20～13:20 準決勝第 2 試合
- 14:00～ 決勝戦
- 16:10～ 閉会式

17 北信越大会及び全国交流大会出場権

- (1) 県大会優勝チームは、平成 26 年 7 月 20 日（日）～ 21 日（祝・月）に福井県の「丹南総合公園野球場」で開催される北信越大会の出場資格を得る。
- (2) 北信越大会優勝チームは、平成 26 年 8 月 8 日（金）～ 11 日（月）に北海道で開催される全国交流大会の出場資格を得る。

18 その他

- (1) 雨天の場合でも開始時間を繰り下げて実施することがあるので、原則として天候にかかわらず集合すること。（参加者独自の判断で来ない場合は、棄権とする。）
- (2) 平成 26 年 6 月 21 日（土）、22 日（日）が雨天のため開催不可能と主催者が判断した場合は、予備日に順延することとし、予備日も雨天のため開催不可能な場合は抽選とする。
- (3) 往復途上及び大会中の疾病・傷害又は事故による医療費等は参加者負担とし、主催者は一切責任を負わない。
- (4) 指導者は 2 名まで申し込み、ベンチ入りすることができる。
- (5) 電子機器類（携帯電話・パソコン等）、携帯マイクの持ち込みを禁止する。
- (6) 開・閉会式用にスポーツ少年団単位団旗を必ず持参すること。
- (7) 第 36 回新潟県スポーツ少年団軟式野球交流大会連絡事項を熟読のうえ参加すること。

第 3 4 回新潟県スポーツ少年団総合体育大会兼
第 3 6 回新潟県スポーツ少年団軟式野球交流大会競技規則及び方法

1 大会特別競技規則

(1) 本大会を円滑に運営するため、各試合において下記のとおり制限を設ける。

試 合	イニング	時間制限	特別延長戦	コールドゲーム
1 回戦 (4 試合)	7 回	試合開始 90 分 経過後は、新し いイニングに入 らない	7 回終了後、継続打 順による特別延長戦 を行う。 ※	① 5 回以降 7 点以 上の得失点差のあ る場合 ② 暗黒・降雨など で試合が中止の場 合は、5 回終了時
準決勝	7 回	時間制限なし		
決 勝	7 回	時間制限なし		

※通算 9 回を過ぎて勝敗が決定しない場合は、抽選で勝敗を決定する。

－特別延長戦－

継続打順とし、前回の最終打者を一塁走者として、二塁、三塁の走者は順次前の打者とする。すなわち無死満塁の状態にして 1 イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決定しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。

なお、通常の延長戦と同様、規則によって認められる団員の交代は許される。

(2) 抽選方法は、全日本軟式野球連盟『学童野球に関する事項』による。

(3) 特別延長戦によって勝敗が決定した場合の記録方法は、全日本軟式野球連盟『学童野球に関する事項』による。

(4) 投手は変化球を投げることを禁止する。投げた場合はペナルティを課す。

ペナルティは、全日本軟式野球連盟『学童野球に関する事項』による。

(5) 参加団員に対し、全員が各試合に出場できる機会を与えることが望ましい。

(6) 抗議は代表指導者（監督）と当該プレイヤーのみとする。

(7) 本規定に定められていない事項が生じた場合は、審判員協議の上、大会審判長の権限により処理する。

(8) 投手の投球制限

① 肘・肩の障害防止を考慮し、1 日 7 イニングまでとする。ただし、特別延長戦の直前のイニングを投げ切った投手に限り、1 日最大 9 イニングまで投げる事ができる。

② 投球イニングに端数が生じたときの取扱いについては、3 分 1 回(アウト 1 つ)未満の場合であっても、1 イニング投球したものとして数える。

2 危険防止のため次の用具を使用する。

(1) 木製バットのほか接合バットを使用してもよい。

(2) 打者、次打者、走者及びベースコーチは両側にイヤークラップのついた打者用ヘルメットを着用する。

(3) 捕手はマスクが分離した捕手用ヘルメット、マスク、レガーズ及びプロテクターを着用すること。

なお、控え捕手も危険防止のためヘルメット、マスクを着用すること。

※平成 25 年度より、捕手と控え捕手はファールカップ着用を義務付ける。

- (4) 上記の各用具及びバットは、全日本軟式野球連盟公認（J S B Bマーク入り）の物を使用すること。
- (5) 素振り用鉄棒（鉄パイプを含む）、バットリングは使用してはならない
- (6) 金属スパイクの使用を禁止する。

3 競技運営に関し、次のことを規定する。

- (1) 競技者の背番号は、算用数字で0番から26番までとし、代表団員（主将）は10番に統一する。なお、必ずスポーツ少年団の団員章を着用する。
- (2) 試合中のダッグアウト（ベンチ）の中に入れる人員は次のとおりとする。
参加申込書に記載された代表指導者（監督）、引率指導者、団員20名とする。
ただし、このほかに、指導者2名（登録指導者で参加申込書に記入された者）とマネージャー（給水係兼）、スコアラーが、ベンチに入ることができるが、試合中の交代は認めない。
※マネージャーとスコアラーは指導者もしくは保護者とし、服装は私服でも構わない。
- (3) 代表指導者（監督）の背番号は30番、引率指導者は27番に統一する。なお、指導者としてベンチ入りする場合、背番号は28番と29番とし、代表指導者（30番）、引率指導者（27番）、指導者（28番・29番）はスポーツ少年団の指導者章を着用すること。
- (4) ベンチ内での電子機器類（携帯電話、パソコン等）、携帯マイクの使用を禁止する。また、メガホンは1個に限り使用を認める。
- (5) ベンチは、組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。
- (6) ラフ・プレーを禁止する。特に足を高く上げてのスライディングは危険防止のために禁じることとし、現実これが妨害になったと審判員が認めた場合は走者を「アウト」にする。
- (7) 空タグを禁止する。現実走者が進塁のとき野手が空タグをして走者の妨害となったと審判員が認めたときは、オブストラクションを適用する。
- (8) 投手は初回（救援を含む）に限り、1分を限度として8球以内の準備投球ができる。次回からは4球以内とする。なお、季節または状況によって考慮する。
- (9) 投手のリストバンド（サポーター等）の使用を禁止する。
巻く必要のある場合は、球審の承認をとなければならない。
- (10) 攻守交代は駆け足で行うこと。
- (11) 試合前のシートノックは5分間とする。
学童部はシートノック時の補助員として指導者（背番号28・29番）も認める。
なお、シートノック時の補助員はヘルメットを着用すること。
- (12) 守備が終わり、最後のボール保持者はマウンドにボールを置くこと。
- (13) 第1試合のチームは、試合開始予定時刻30分前まで、第2試合以降は、前の試合開始1時間後、または、4回終了時まで大会本部で用意する打順表5部（必ずふりがなを付けること）を本部へ提出して登録メンバーの照合を受けること。
なお、その際、代表団員（主将）によって攻守の決定を行う。
- (14) 試合開始予定時刻前でも、前の試合が早く終了した場合、次の試合開始を早める場合がある。

- (15) 試合開始時刻になっても会場に来ていないチームは原則として棄権と見なす。
ただし、正当な理由があると主催者が判断した場合はこの限りでなく、場合によっては第1試合と第2試合の順序を変更する等の処置をとることもある。
- (16) 小雨の場合でも参加チームの地域性を考慮し、球場が試合可能と判断される場合は試合を続行する。判断は主催者及び審判団の協議により決定する。
- (17) ボールボーイは各チームから2名出すこと。(参加申込団員以外から出してもよい。ただし、ユニフォームを着用すること。)
- (18) チーム並びに応援団は、連盟の競技者規定に触れる事のないように注意すること。特に、投手が投球モーションに入ったら、応援を止めなければならない。また、好ましくない応援や野次(鳴り物は禁止)に対しては、審判員がそのチーム対しに注意をする。
- (19) 熱中症対策として、1チーム2名(母親に限る)がベンチに入る事を認める。(強制はしない。ただし、ベンチ入りする場合は大会本部の発行するパスを携帯すること。)
- (20) 練習は外野に限り行うことを認める(フリーバッティングは厳禁とする)。

第34回新潟県スポーツ少年団総合体育大会兼
第36回新潟県スポーツ少年団軟式野球交流大会 連絡事項

- 1 大会初日について
 - (1) 大会初日各チームは7時45分までに会場に到着し、本部室に到着を申告すること。球場内控室には代表指導者・代表団員会議終了後までは、荷物を置いてはいけない。各チームの責任で、貴重品及び荷物の管理を行うこと。ただし、スタンドには荷物を置いてよい。
 - (2) 主催者の指示に基づき、開会式前に外野でのアップを行ってもよい。
なお、グラウンドの状況によっては、許可しない場合がある。また、指示があった場合は速やかに中止すること。

- 2 代表指導者・代表団員会議について
 - (1) 代表指導者・代表団員会議には各チームの代表指導者(監督)及び代表団員(主将)各1名が出席すること。
 - (2) この会議で説明又は決められた事項は、チーム全員及び応援関係者に必ず周知徹底させること。
 - (3) その他、大会運営に関する必要事項等大会特別競技規則の説明を行う。
 - (4) 組合せ抽選で1番のチームの代表団員が代表団員宣誓を行う。
なお、該当チームへは主催者より事前に電話連絡等を行う。

- 3 登録選手の確認について
 - (1) 参加申込書に記載してある団員の確認を行い、記載していない団員は抹消する。
参加申込後は原則として団員の追加並びに変更は認めない。
 - (2) 参加申込書に記載してある背番号の変更は認めない。
 - (3) 代表指導者及び引率指導者の交代の確認をする。

- 4 開会式・閉会式について
 - (1) 開・閉会式には参加申込書に記載してある団員以外は参加できない。
なお、上記団員以外のベンチ入りも認めない。
 - (2) 入場行進を行うので、指示に基づき集合・整列すること。
なお、プラカードは主催者側で用意する。
 - (3) 整列時は先頭から旗手、代表団員、背の高い者の順に並ぶこと。
 - (4) 優勝チームの指導者は北信越大会についての説明を行うので、閉会式後、本部室に来ること。
 - (5) ベンチ内、各チーム応援席の整理整頓及びゴミ処理を徹底すること。

- 5 抽選方法について
 - (1) 審判員及び試合終了に出場していた両チームのメンバーが、終了の挨拶の状態に整列する。球審が○印、×印各9枚記入した抽選用紙の入った18枚の封筒を持ち、先攻チームより1枚ずつ交互に選ばせる。2人の審判員が両チームの代表指導者立ち会いのもとに同時開封し、○印の多い方を抽選勝ちとする。

6. その他
 - (1) 大会の運営、進行については、主催者の指示に従うこと。